

- 問1 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、その発生と移動の背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アラスカ沿岸で発達した流氷が、偏西風の影響を受けて東から西へと移動し、北海道の知床半島周辺に漂着する。 | 2. 北極海から流れ出した巨大な氷の塊が、親潮（千島海流）に乗って南下し、北海道の太平洋側に接岸する。 | 3. シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。 | 4. 日本海側の対馬海流が強い寒気で冷やされることで氷が発生し、北西の季節風によって北海道の北部に押し寄せられる。 |
|--|---|--|---|
- 問2 ニセコ町や倶知安町では、特定の時期に急増する外国人観光客の利便性を高めるため、駅から目的地までの移動手段である「二次交通」の整備などに官民が連携して取り組んでいます。持続可能な観光地づくりの先進事例として注目されているこの取り組みを何と呼びますか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|-----------|-----------|
| 1. コンパクトシティ | 2. エコツーリズム | 3. ニセコモデル | 4. 地産地消運動 |
|-------------|------------|-----------|-----------|
- 問3 北海道の泥炭地における土地改良の取り組みについて、不毛な湿地を農地に変えるために「排水施設の整備」と共に行われた、他の場所から新しい土を運び入れる作業の名称を選びなさい。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 輪作 | 2. 干拓 | 3. 減反 | 4. 客土 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問4 北海道東部の根釧台地における気候の特徴と、それに関連した農業の様子について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 夏の気温が非常に高く日照時間が長いため、広大な土地を利用して本州と同じような二毛作による野菜の生産が行われている。 | 2. 日本海側に位置するため冬は大量の降雪があり、その豊富な雪解け水を利用した大規模な稲作地帯が形成されている。 | 3. 太平洋側に位置するため冬の降雪量は比較的少ないが、冷え込みは非常に厳しく、広大な牧草地帯を活用した酪農が盛んである。 | 4. 年間を通じて降水量が極端に少なく、乾燥した土地に適したブドウやオリーブなどの果樹栽培が地域経済の中心となっている。 |
|--|--|---|--|
- 問5 北海道には、その土地の先住民族の伝統的な暮らし方や文化を学ぶための国立施設が整備されています。この民族の歴史や現状に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 江戸時代にユーラシア大陸から移住し、大規模な農地開発を主導した人々の集団である。 | 2. 独自の言語や自然を敬う文化を持つ先住民族であり、現代においてもその伝統の継承が図られている。 | 3. 明治時代に本州から組織的に移住し、屯田兵として土地の開墾に従事した人々の総称である。 | 4. かつて南西諸島を中心に独自の王国を築き、東南アジアとの中継貿易で栄えた人々である。 |
|---|---|---|--|
- 問6 北海道東部の太平洋沿岸地域において、夏の気候に大きな影響を与える「海霧」の要因となる、海流の名称と季節風の向きの組み合わせとして正しいものはどれか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 対馬海流と南東の季節風 | 2. 黒潮（日本海流）と北西の季節風 | 3. 親潮（千島海流）と南東の季節風 | 4. 親潮（千島海流）と北東の季節風 |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|
- 問7 北海道の農業は、広大な十勝平野などを中心に日本の食料自給に大きく貢献していますが、人口に占める農業従事者の割合は全国平均よりも低いという特徴があります。このような数値が表れる背景にある、北海道の農業の仕組みとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 農地の多くが牧場として利用されており、農作物を作る従事者が不足しているため | 2. 都市近郊での施設園芸が中心であり、限られた土地で少人数の家族労働が行われているため | 3. 1戸あたりの経営面積が広く、大型機械を活用した大規模な農業が行われているため | 4. 冷涼な気候を活かした稲作が中心であり、冬の間の就業人口が極端に少なくなるため |
|--|--|---|---|
- 問8 北海道の釧路市周辺では、夏の時期に「海霧」と呼ばれる濃霧が発生し、日照時間が短くなるという気候上の特徴が見られます。このような現象が起こる背景として、地形や海流の影響を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 熱帯低気圧から変わった温帯低気圧が、太平洋沿岸の暖流によって勢力を強めるため。 | 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な風が、大雪山系を越える際に上昇気流を作るため。 | 3. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である日本海流（黒潮）の影響で湿気を帯びるため。 | 4. 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。 |
|--|--|---|--|
- 問9 日本の地方別統計において、北海道地方は耕地面積が極めて広い一方で、農家数は他地方と比較してそれほど多くありません。この「農家数に対する耕地面積の割合が非常に高い」という状況が、北海道の農業経営にどのような影響を与えているか、正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 労働力が余っているため、機械を使わずに手作業による丁寧な栽培が行われている | 2. 一戸あたりの作業範囲が広いいため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている | 3. 農家一戸あたりの土地が狭すぎるため、複数の農家が共同で土地を管理している | 4. 土地の生産性が低いため、農業を営む世帯が減少し、耕作放棄地が最も多くなっている |
|--|---|---|--|
- 問10 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|---------|--------|
| 1. 知床 | 2. 小笠原諸島 | 3. 白神山地 | 4. 屋久島 |
|-------|----------|---------|--------|
- 問11 北海道の大規模な畑作地帯では、1つの土地において1年目に豆、2年目に小麦、3年目にてんさい、4年目にじゃがいもというように、数年周期で育てる作物を変える工夫が行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|--------|--------|
| 1. 輪作 | 2. 促成栽培 | 3. 二期作 | 4. 二毛作 |
|-------|---------|--------|--------|
- 問12 日本の農業の状況を分析した資料において、農業就業者一人あたりの耕地面積が他の地方に比べて極めて大きく、かつ地方別の米の生産量割合において国内最大のシェアを占めている地方はどこですか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 東北地方 | 2. 北海道 | 3. 近畿地方 | 4. 九州地方 |
|---------|--------|---------|---------|
- 問13 北海道には古くから独自の文化を築いてきた先住民族が居住しており、現在の札幌をはじめとする道内の多くの地名は彼らの言葉に由来しています。この民族を何と呼びますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|
| 1. アイヌ民族 | 2. ウィルタ民族 | 3. 琉球民族 | 4. 大和民族 |
|----------|-----------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 シベリアからの強い寒気によって凍った海水が、風や海流の影響を受けて南下し、北海道の沿岸に到達する。	流氷の形成には、シベリア大陸から吹き付ける非常に冷たい空気が不可欠です。この寒気によってオホーツク海の塩分濃度が低い表面層が凍り、それが北西の季節風や海流によって南へ運ばれることで、北海道の北東沿岸にたどり着くという仕組みになっています。
問2	答え 3 ニセコモデル	急激な観光需要の増加に対し、行政と民間事業者が協力して、バス路線の拡充や多言語対応、決済システムの導入などを進める仕組みを指します。インフラ整備やサービス向上を一体となって進めることで、観光客の満足度を高め、地域経済を活性化させる手法として全国から注目されています。
問3	答え 4 客土	泥炭地は植物の遺骸が腐敗しきらずに堆積した土地で、水分が非常に多く農業に適しません。この土地に別の場所から良好な土を運び込んで層を作ることを「客土（かくど）」と呼びます。この作業によって土地の質を改善し、排水施設で水分を除くことで、ジャガイモやテンサイなどの畑作や、牧草地としての利用が可能になりました。
問4	答え 3 太平洋側に位置するため冬の降雪量は比較的小さいが、冷え込みは非常に厳しく、広大な牧草地帯を活用した酪農が盛んである。	根釧台地は北海道の太平洋側に位置しているため、日本海側と比べて冬の雪はそれほど多くありませんが、放射冷却などの影響で気温は非常に低くなります。夏には海霧が発生しやすく冷涼であるため、稲作には不向きな土地柄ですが、その広大な面積を活かして乳用牛を飼育する酪農が主要な産業となっています。トラップとして挙げられる「稲作」や「夏の高温」は、この地域の気候条件とは一致しません。
問5	答え 2 独自の言語や自然を敬う文化を持つ先住民族であり、現代においてもその伝統の継承が図られている。	アイヌの人々は北海道の先住民族であり、明治時代以降の政府の政策などによって独自の文化が失われかけた歴史を持ちます。しかし、2019年にはアイヌ施策推進法が施行され、法律によって初めて先住民族と明記されました。現在は、独自の文化や誇りを尊重し、多文化共生社会を実現するための教育や施設整備が進められています。
問6	答え 3 親潮（千島海流）と南東の季節風	北海道東部の太平洋沿岸では、夏に南東から湿った空気が流れ込みますが、この空気が千島列島付近から南下してくる寒流の「親潮（千島海流）」の影響を受けることで冷やされ、濃い霧が発生します。この現象は、この地域の夏の気温が上がりにくい一因ともなっており、農作物の生育に影響を与える「冷害」の原因になることもあります。
問7	答え 3 1戸あたりの経営面積が広く、大型機械を活用した大規模な農業が行われているため	北海道の農業は、他の都府県と比較して1戸あたりの耕地面積が非常に広く、大型機械を導入した大規模な経営が主流です。これにより、少ない労働力で広範囲の農地を管理できるため、農業生産額は大きいものの、全人口に対する農業従事者の割合は全国平均を下回る水準となっています。このように、生産性の高さと従事者の割合は必ずしも比例しません。
問8	答え 4 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏には、太平洋高気圧から南東の季節風が吹き込みます。この季節風は海からの湿気を多く含んでいますが、北海道東部の沖合を流れる寒流（千島海流／親潮）によって下層から急激に冷やされます。冷やされた空気中の水蒸気が細かい水滴となることで濃霧が発生し、沿岸部に流れ込むため、釧路などの地域では日照時間が減少します。
問9	答え 2 一戸あたりの作業範囲が広いため、生産効率を高める機械化が不可欠となっている	農家数に対して耕地面積が広大であるということは、農家一戸が管理しなければならない面積が非常に大きいことを意味します。人の手による作業だけではこの広大な土地をカバーできないため、大型機械を活用した大規模経営を行うことで、一戸あたりの生産性を高める工夫がなされています。これが、北海道が日本最大の食料供給基地と呼ばれる理由の一つです。
問10	答え 1 知床	北海道東部にある知床半島は、冬に流れ着く流氷がもたらすプランクトンを起点として、魚類、鳥類、そしてヒグマなどの大型哺乳類までが密接に関わる豊かな生態系を持っています。この貴重な自然環境が認められ、日本では3番目の世界自然遺産として登録されました。
問11	答え 1 輪作	1年ごとに異なる種類の作物を順序立てて栽培する仕組みを「輪作」と呼びます。これは、北海道のように広い農地を活用する地域で見られる特徴的な農法です。同じ土地で同じ作物を繰り返し作る「連作」を避けることで、土壌の質を保ち、収穫量が減るのを防ぐ効果があります。
問12	答え 2 北海道	広大な石狩平野などを中心に、かつての開拓によって整備された一区画あたりの面積が広い農地が広がっています。このため、大型機械を活用した効率的な大規模農業が展開されており、一人あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。また、かつては寒冷地での栽培は困難とされていましたが、品種改良の進展により、現在では地方別で見た米の生産量でも全国トップクラスのシェアを誇っています。
問13	答え 1 アイヌ民族	アイヌ民族は北海道の先住民族であり、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の精神文化や言語を持っています。北海道にある多くの地名は、彼らが地形や動植物の特徴を表現した言葉が語源となっており、例えば札幌（サッポロ）は「乾いた大きな川」を意味するアイヌ語の『サツ・ポロ・ベツ』に由来しています。